

林鶴一 つばき いち 数学者、和算史学者、理学博士。明治六年六月十三日  
徳島縣生れ、昭和十年十月四日歿（一八七三—一九三五）。第二高等學校を經  
て、明治二十年帝國大學理科大學數學科卒。翌年京都帝大助教として事  
故ありて退職、のち東京高等師範學校教授。四十四年東北帝大理科大  
學創設に際し數學の主任教授となり、『東北數學雜誌』を創刊。一方  
多數の數學書を著して數學教育に貢献、また和算史研究なども一家を  
成した。

著書に『順列論』（明治四十四年七月七日大倉書店「數學叢書」）、  
『幾何と代數との話源に就いて』（昭和八年十一月十日東京刷成館）  
等。